リデザイン*ー*シャルビジネス

起業家・専門家とマンツーマンであなたの事業を磨きます。2015

数多くのソーシャルビジネス (SB) やコミュニティビジネス (CB) が生み出される中、持続的に 収益を上げながらソーシャルイノベーションに資する事業体は多くはなく、持続可能なビジ ネスモデルが必要とされながらも、それを構築することは容易ではないとも考えられています。

このセミナーでは、SBや CBの起業を目指す方や創業期の方を対象に、先輩起業家が一対一 でのメンタリングを実施。発展・安定に向かうためのビジネスモデルを一緒に考えます。

2015 年度テーマ コミュニティと居場所

メンター 各分野で活躍する起業家・専門家をお呼びします。

渡辺直樹さん

studio-L

■ 大学卒業後、富士通にて法人営業 として建設・不動産業界などを担 当。2013 年独立。IT 関連の製品開 発イベントや企業研修などでファ シリテーターを務める。同年、 studio-L に参画。主にボランティ アの参加による公園のマネジメン トや、住民参加による自治体の計 画策定に携わっている。

中川悠さん NPO 法人チュラキューブ プロジェクト

|情報誌の編集業務を経て、アート ギャラリー運営などの経験をもと に、2007年に創業。クリエイター のビジネス支援、障がい者施設の 工賃向上を目指したお墓参り代行 サービス、カフェ併設の障がい者 福祉施設、オールド・ニュータウ ンのコミュニティ再生などさまざ まなプロジェクトを運営している。

宗政美穂さん NPO 法人福祉ネットワーク 西須磨だんらん

■ 大学で海外の NGO 活動を学び、卒 **居** 場 業後は自治会の活動から生まれた 地域密着型 NPO「福祉ネットワー ク西須磨だんらん」で、介護予防 を目指した 保険制度外の 在宅支援 サービスや、ミニデイサービス、 コミュニティカフェなど地域の居 場所づくりに取り組む。2011年 から事務局長を務める。

時...2015年 12月6日日曜日 14 時から 17 時 30 分

所…サポートステーション灘・つどいの家 神戸市灘区大和町3丁目1番20号

参加者...6 団体 (NPO 法人など) ※1団体2名。

※事前にエントリーシートをご提出いただきます。

お申込…件名に「リデザイン 2015 参加希望」とご 記入の上、①団体名、②ご担当者名、③ご連 絡先(電話・Email) を右記アドレスまでお 送りください。

参加者による団体紹介プレゼン 1団体約5分

1st セッション メンタリング 1団体約40分

メンターミーティング/課題検討

2nd セッション メンタリング 1団体約20分

メンター・参加者で感想を共有

神戸市 協働と参画のプラットホーム 主催:

> [企画運営] 特定非営利活動法人しゃらく

> > 担当:小嶋

078-735-0163 Fax 078-735-0164 Tel

E-mail sharaku@123kobe.com

プ ログラム

リデザインソーシャルビジネス 2015

〇日時:平成27年12月6日(日) 14:00~17:30

〇場所:サポートステーション灘・つどいの家

〇講師 (メンター)

· 渡辺 直樹 (studio-L)

・中川 悠(NPO法人チュラキューブプロジェクト)

・宗政 美穂 (特定非営利活動法人福祉ネットワーク西須磨だんらん)

〇参加者:

団体一覧(申込み6団体、参加団体5団体(当日欠席1団体))

団体名	団体所在地
NPO 法人ウエルネスハート	明石市(兵庫県所轄)
特定非営利活動法人エコグループ	神戸市
なだワーク・ライフ・カフェ	神戸市
NPO 法人 COREnnection	神戸市
兵庫県高齢者生活協同組合	神戸市

視察:コープともしびボランティア振興財団

神戸大学 まちプロ

運営側スタッフ:しゃらく 小嶋、大川、大福 神戸市 尭志

〇プログラム

- ①参加者・メンタ―自己紹介 14:10 から 14:40 (30 分) まで (参加団体は、団体の持つ課題について述べる。以下概要)
 - ・現在、新規事業の立ち上げを検討中。円滑に事業をすすめるにはどのようにすれば よいか。
 - ・団体として活動を継続していくためにどのようにお金を調達していけばよいか。
 - ・団体の運転資金の調達の仕方、事業性を保ちながらの活動のおこなっていくには、 どのようにすればよいか。
 - ・今後、ボランティア・地域の人間を巻き込んでいくためにはどのようにすればよい か。
- ②1st セッション メンタリング 14:40 から 16:00 (80 分 1 団体 40 分×2 回) まで 団体の現状を確認、課題の抽出

- ③メンターミーティング 16:00 から 16:40 (40 分) まで メンター間で各団体のヒアリング内容を交換、メンタリングの方向性の決定 参加団体はお互いの情報交換
- ④2nd セッション メンタリング 16:40 から 17:20 (40 分 1 団体 20 分×2 回) 課題への対策方針の検討

⑤閉会 17:20 から 17:30

メンター、事務スタッフで振り返り。

(メンター、事務スタッフの所感)

- ・今回のセミナーの趣旨を分からずに、参加される団体あり(趣旨の周知が必要)。
- ・事前提出のエントリーシートの作り方について、何を重きにおくべきかがわからない。
- ・会場の動きについて、階段の上り降り等の動きが多い。(1フロアで実施するほうが望ましい。)

○参加者の感想

- ・ほかの参加者の活動の実例に触発されるものがあったので、自分たちの実施している活動についても視点を変えたアプローチが必要だと思った。
- ・課題解決のために法人内でも2つの意見があったが、メンターの話を聞いて、まず は団体としての方針を固めた上で、リサーチカを身につけたいと思った。
- ・情報収集の力とリサーチ力をつけたいと思った。メンターの話をもう少し聞きたかった。
- ・メンターとの距離感が良かった。ニーズ、実践の効果の具体化・見える化をしたい と思った。







(KOBE ソーシャルビジネスマーク)

神戸ソーシャルビジネス創業塾

神戸ソーシャルビジネス創業塾は「これから神戸でソーシャルビジネスを立ち上げたい」

「すでに立ち上げているが学び直したい」「まずはソーシャルビジネスがどんなものかを知りたい」

という方々を対象に、ソーシャルビジネスを短期間で集中的に学べるセミナーです。

最終回(第3回)では「平成28年度神戸市ソーシャルビジネス推進助成(準備・創業期)」の

説明会も予定しており、創業塾終了後も立ち上げに向けたサポートを行っていきます。



日時

2016年2月28日(日)・3月12日(土)・3月26日(土)

(いずれも13:00~16:00)※原則3回ともご参加ください。

会 場

神戸市中央区東川崎町1-7-4 ハーバーランドダイヤニッセイビル11階

定員

20 名

対象者

- これから神戸を拠点にソーシャルビジネスを起業しようとする方
- ●すでに起業されている方でソーシャルビジ ネスを学び直したい方
- ●ソーシャルビジネスに関心のある方



第1回

2016年2月28日(日) 13:00~16:00

〈テーマ〉ソーシャルビジネス入門

ソーシャルビジネスとはなにか、どんなビジネスが あるのかを学びます。

第2回

2016年3月12日(土) 13:00~16:00

〈テーマ〉ビジネスプランの作成

ビジネスプランやビジネスモデルの作り方と金融 機関の利用方法を学びます。 第3回

2016 年3月26日(土)

13:00~16:00

〈テーマ〉助成金の獲得

助成金を獲得する方法、「平成28年度神戸市ソーシャルビジネス推進助成(準備・創業期)」の説明会、また平成26年度採択団体による事例紹介を行います。

平成26年度神戸市ソーシャルビジネス推進助成(準備・創業期)採択団体

●事例1 NPO法人Oneself

留学生向けシェアハウスの運営と定住 外国人に対する日本語支援やイベント

●事例2 タマんち

ハイハイまでの赤ちゃんとママ 専用のマンガルームの運営

お申し込み・お問い合わせ

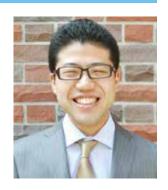
NPO法人しゃらく 担当:小嶋

TEL:078-735-0163 FAX:078-735-0164 E-mail:sharaku@123kobe.com

川中 大輔

(シチズンシップ共育企画 代表)

青少年の成長を支援するNPO法人BrainHumanity副理事長・事務局次長、社会事業家を支援するIIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] フェローなどを経て、2003年にシチズンシップ共育企画を設立。市民教育や協働まちづくり、NPOマネジメントのワークショップを担当し、「市民の行動力」を育む学びの場をつくっている(年間90本程度)。立命館大学講師(社会的企業論)等。



青木 伸也

(日本政策金融公庫 神戸創業支援センター 所長)

1997年入庫。経理部、財務総合政策研究所派遣等を経て現職。セミナー活動等を通じ、兵庫県内の創業支援、ソーシャルビジネス支援等に取り組む。兵庫県の女性起業家支援事業審査委員や神戸市ソーシャルビジネス推進委員等も務める。



小嶋 新

(NPO法人しゃらく 理事)

野村證券株式会社を経て、NPO法人しゃらくの設立に参画、理事に就任。 2007年に人事交流の一環で、兵庫県社会福祉協議会で勤務。現在は、ソーシャルビジネスの起業運営を支援する生きがいしごとサポートセンター神戸西、神戸市の官民の協働を促進する協働コーディネート業務などに従事。コープともしびボランティア振興財団運営委員などを歴任。



参加申込書

NPO法人しゃらく 小嶋 行 FAX:078-735-0164 E-mail:sharaku@123kobe.com

参加日	□ 2月28日(日) □ 3月12日(土) □ 3月26日(土) (原則、3回ともで参加ください。)
お名前	
貴団体名·役職	※所属があればご記入ください。
取り組む分野 (複数選択可)	□福祉 □医療 □保健 □社会教育 □まちづくり □芸術 □スポーツ □文化 □環境保全 □子どもの健全育成 □その他()
ご連絡先	TEL() - FAX() -
E-mail	
これから 取り組みたいこと	

- ●お申し込みは2016年2月24日(水)までにお願いします。
- ●お申し込み人数が定員に達した場合は早期に受付を終了させていただく場合もあります。ご了承下さい。
- ●お名前・ご連絡先等の個人情報は、本セミナーにかかる連絡のみに使用させていただきます。

「神戸ソーシャルビジネス創業塾」進行表

第1回 平成28年2月28日(日) 13時から16時 ソーシャルビジネス入門

〇ソーシャルビジネスとは(シチズンシップ共育企画 代表 川中 大輔)

参加者:23名

宿題:自分が取り組むべき社会的課題を調べる。

【時間配分】

13 : 00	オープニング
	主催者ご挨拶・講師自己紹介・ねらいと流れとルールの共有(小嶋さん/川中さん)
13 : 15	グループ(4名×5グループ)内で参加者自己紹介
	・小講義「ソーシャルビジネスとは?」(川中さん)
	・小講義「成功する社会事業家とは?」(川中さん)
14 : 45	休憩
14 : 55	「ソーシャルビジネスデザインの基本プロセスとは?」
15 : 45	本日のふりかえり
15 : 55	閉会の挨拶
16 : 00	終了

第2回 平成28年3月12日(土) 13時から16時 ビジネスプランの作成

- 〇ソーシャルビジネスモデルの考え方 (NPO 法人しゃらく 理事 小嶋 新)
- 〇ビジネスプランの作り方と金融機関の利用方法

(日本政策金融公庫 神戸創業支援センター 所長 青木 伸也)

参加者:16名

宿題:社会的課題を持続的に解決できるビジネスプランを考える。

【時間配分】

13 : 00	開会の挨拶、前回のふりかえり
13 : 05	各グループ(4名×5グループ)内で宿題発表(1人あたり8分から10分)を行
	い、代表者が全体向けに発表。発表後グループ毎に青木さん、小嶋さんから助言
14 : 00	休憩
14 : 10	・小講義「ソーシャルビジネスモデルの考え方」小嶋さん
14 : 40	・小講義「ビジネスプランの作り方と金融機関の利用方法」青木さん
15 : 40	質疑応答
15 : 50	次回の宿題の説明、閉会の挨拶

第3回 平成28年3月26日(土) 13時から16時

参加者:21名

- 〇事例紹介(平成26年度採択団体)
- 〇神戸市ソーシャルビジネス推進助成(準備・創業期)説明会 (神戸市市民協働推進課 NPO 支援担当係長 島村 恭平)
- ○助成金の取り方講座

(NPO 法人しゃらく 理事 小嶋 新)

○参加者発表:これからの決意表明やビジネスプランの発表

【時間配分】

13 : 00	開会の挨拶、前回のふりかえり
13 : 05	事例紹介 1 団体あたり 1 5 分(oneself 中野さん、たまんち山本さん)
13 : 35	青木さん、参加者から事例紹介団体への代表質問
14 : 05	神戸市ソーシャルビジネス推進助成(準備・創業期)説明 島村係長
14 : 35	休憩
14 : 45	助成金の取り方講座 小嶋さん
	各グループ (4名×5グループ) 内でのビジネスプランの発表 (1人あたり3分)
15 : 15	残った時間については、各自申請書を机の上に置き、他のグループのビジネスプラ
	ンを見て回る
15 : 50	閉会のあいさつ

(参加者感想)

- ・自分が展開しようとしているソーシャルビジネスの参考になるかと思い、参加した。 講師のお話はたいへん勉強になった。
- ・最近NPO法人を設立し、活動におけるPDCAのcheckをするために参加した。 事業の実施に向けて、キーワードを理解することができた。
- ・NPO法人で働くこととなり、そこの上司の勧めもあって参加した。講義自体が分かり やすく、初心者にも理解しやすい内容であった。
- ・サービス業で働いていた経験と自分の趣味を活かして、講座の開設等を目的に起業を考 えているので参加した。話が分かりやすく、ゆっくりとお話を聞きたいと思った。